

議会広報

かみいち

2025

45号

令和7年10月15日

- 9月定例会の要点.....P2
- 委員会報告.....P3
- 一般質問.....P4~8
- 学校のあり方委員会....P8
- 研修報告.....P9
- 公共交通特集.....P10~11
- 町民の声.....P12

(写真) ふるさと観光上市まつり
三日市保育園児による上市音頭

発行／上市町議会
編集／議会広報特別委員会



令和7年(2025年)9月定例会の審議の要点

9月定例会は、9月1日（月）から9月16日（火）までの16日間にわたり開かれました。専決処分の承認3件、一般会計・特別会計2件・企業会計3件の補正予算計6件、条例一部改正1件、令和6年度決算認定9件、人事案件1件の合計20件について審議しました。すべて原案のとおり承認・可決・認定・同意しました。

● 令和7年度補正予算 ●

一般会計補正予算…………… 1億7134万円増額（総額113億2413万円）

特別会計補正予算…………… 835万円増額（総額27億1191万円）

企業会計補正予算…………… 1213万円増額（総額66億8641万円）

主な補正の内容

歳入

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
国庫支出金 5133万円
担い手応援！農地管理効率化事業費補助金
県支出金 105万円
経営体育成支援事業費補助金
県支出金 260万円

歳出

細田守監督新作「果てしなきスカーレット」
公開記念事業費 157万円
富山地方鉄道本線あり方調査業務負担金
150万円
上市中学校地歴・地質調査業務委託料
1112万円

令和6年度決算

	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越財源	実質収支額
一般会計	113億8161万円	111億3066万円	5042万円	2億52万円の黒字
特別会計	27億6685万円	26億8101万円	5万円	8578万円の黒字

令和6年度末の財産状況は、財政調整基金が12億円以上の残高、町債管理基金も7億円以上の残高で、基金全体で39億円の前高を維持しており、不測の事態への蓄えや将来的な投資への原資が一定額確保されている。

本会議の様様を上市町公式 YouTube で公開中

本会議（9/1）
提案理由、決算審査報告



本会議（9/4）
一般質問前半



本会議（9/4）
一般質問後半



本会議（9/16）
委員長報告・討論・採決



本会議の審議結果は
こちらから↓



委員会報告

総務教育 常任委員会

企画課

富山地方鉄道の本線沿線自治体の分科会とは。

分科会とは3市1町の首長が公式に行う会議。色々と報道されているが、今は調査中であり、調査が終われば分科会が開催される。

町民の交通機関として残すために利用促進をしっかりとやる。

スマホ役場の加入と通報システムの利用は。

スマホ役場加入者は増えている。通報システムの利用は少ないが野生動物の出没、遊歩道・登山道の崩壊等の通報件数は増えている。

財務課

物価高騰対応支援の補正予算の内容は。

昨年度の定額減税の

未完了分及びかみいち総合病院への燃料高騰分である。

報告事項

財務課所管のDXとして、富山共同電子入札システムを導入する予定である。9月に業者向け説明会を開催し、令和8年1月に運用を開始したい。

教育委員会事務局

小中学生が全国大会に出場したり、優勝等好成绩の場合、町の補助金や支援等は。

全国大会等へ参加する小中学生に対し、全国大会等参加補助金制度がある。

全国大会等で活躍した選手に対し、看板等を町で設置している。

自治公民館での照明設備のLED化の補助制度はないか。

自治会の公民館は大

規模改修やバリアフリー改修に対する補助制度はある。それぞれの公民館の事情も違うところだが自治会の声も聞きながら探っていく。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決及び承認した。

所管事務事項の継続審査は了承。

産業厚生 常任委員会

かみいち総合病院

診療報酬の見直しを含めた収支の今後の見通しは。

収入について診療報酬の改定が実際の支出に追いついていない。

病院としても全国自治体協議会を通じて引上げを要望している。

町民課

令和4年に造った第2合葬墓は好評と聞いて

いる。利用状況はどうか。

第2合葬墓の生前申込を含めた許可数は77柱。納骨済は61柱。第1第2合葬墓を合わせた許可数は198柱。第1合葬墓は、全て埋まっているが、第2合葬墓の予定数は400柱でまだ余裕がある。

産業課

「馬場島コンサート秋の弦楽四重奏」の定員が30名なのはもったいないのでは。

馬場島荘で行うため、30名程度とした。本来は北アルプス文化センターの開催を考えたが、スケジュール上合わなかった。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決及び承認した。

所管事務事項の継続審査は了承。

決算審査 特別委員会

一般会計・特別会計

墓地公園の使用料収入が下がった理由は。

墓地使用の申請件数が、令和6年度は令和5年度より少なかったため。また、区画ごとに金額が違い、令和5年度は高い区画での申請があった。

病院事業会計

医師が4名減っている。診療への影響は。

正規職員では4名減っているが、うち内科医1名と外科医1名は会計年度任用職員として引き続き勤務している。現状の人数を確保するため、今後も大学の医局に要望していく。外科の手術件数は減っているのか。

大学から非常勤医師が応援に来ており、件数はそれほど減っていない。

下水道事業会計

中新川広域行政事務組

合に管を繋げた場合、石仏浄化センターにかかる費用は下がるのか。

町単独でポンプを動かすのに必要な経費や汚泥処理費用が抑えられるため安くなる。

有収率とは。

全体の処理水量に対し、下水道使用料がかかる水量の率のこと。有収率72・5%は一般的に高いか低い。

明らかに低い。雨水などの不明水の影響が考えられるため、今後調査していく。

水道事業会計

今後の漏水対策をどう取り組むか。

令和元年度の「上市町配水管更新計画」をもとに、特に幹線管などを重点的に更新していく。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決及び認定した。

一般質問



松本 寛 議員

議員 「こどもの権利条例」が令和7年10月1日に施行される。条例の制定と施行がゴールではなく、その理念を実際の施策や教育、地域の意識の中に根付かせていくことが何よりも重要だ。

「上市町こどもの権利条例」の概要は

福祉課長 条例の冒頭

には制定にあたって聴取した当町のこどもたちの意見を盛り込んだ前文をおき、大人へのメッセージを表しました。そのうえで、まず目的や用語などを定義

「上市町こどもの権利条例」の周知と理解促進を

した「総則」、次に安心して生きる権利や自分らしく育つ権利などの「こどもの権利の保障」、そして行政や保護者など「こどもに関わる者の役割」とこどもたちの社会参加の機会の確保や虐待防止等に係る「基本施策」、これら4章の構成としている。

町民への周知と理解促進は

福祉課長 本年4月に

町ホームページ内に専

門コーナーを設けたり、スマホ役場や広報上市での情報発信、7月には小中学校の保護者や学校関係者に学校安心安全メールを通した啓発を行っている。特に、本条例の主役であるこどもに対しては、小中学校全ての児童生徒にこども向けチラシを配布するとともに、6年生を中心に条例についての説明会などを実施した。



一般質問



酒井桂之 議員

議員 富山地方鉄道のあり方検討会の検討状況と方向性は。

町長 令和6年11月28

日に沿線7市町村の首

長と県知事からなる検

討会を立ち上げ、ス

ピード感を持つて中長

期的なあり方を検討す

る目的で、上市以東の

本線については黒部

市、魚津市、滑川市、

上市町の3市1町で構

成する本線分科会で議

論を行っている。この

本線分科会では、上市

―宇奈月間の利用状況

や経営状況を把握し、

想定される運行形態毎

に必要経費の算定や区

間収支の予測、課題整

富山地鉄鉄道線は町民の大切な足引き続き利用促進と支援を

理を行うなど、本線のあり方について検討する基礎資料を作成するための調査を進めており、今定例会に調査費用の当町分の負担金の補正予算を上程している。

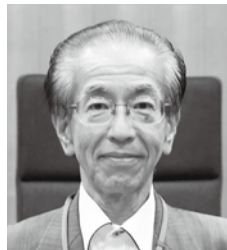
上市町民の大切な足であるため、新相ノ木駅パークアンドライド駐車場拡張の可能性やカミ鉄の旅の再実施を検討するなど、引き続き富山地方鉄道鉄道線の利用促進に取り組む。



〈その他の質問〉
義務教育学校の建設について

当町としては、議論の行方がどうなるかと

一般質問



酒井一好 議員

**政府指針改定基準
に対する状況と今
後の方針**

議員 避難所の生活環境を全国水準で底上げすることを狙い、「自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドライン」が改定された。

総務課長 トイレについては国の交付金を活用して増強に努めてきたが、国の基準を満たしていない。協定先の事業者などから簡易トイレ等を調達するやり方が出来ないか等も含め対応を検討する。

また、避難施設一人

避難所の整備を

あたりの居住スペースも最新基準を満たしていない。町指定避難所は基本的に公共施設を活用することになっていくが、各町内会所有の施設や民間施設なども追加できないか検討していく。

災害時の通信確保を

議員 全国の自治体では、地上の通信網に依存しない「衛星通信システム」を活用する動きが広がっている。スターリンク等の衛星通信ネットワークを導入することについて、町の現状認識と今後の方針は。

総務課長 以前にスターリンクを導入できない



衛星通信アンテナのイメージ図(Gemini2で生成)

〈その他の質問〉

- ・ヤングケアラーの現状と課題
- ・学校体育館の暑さ対策

一般質問



寺西庄司 議員

支援の取り組み

議員 犯罪被害者支援に関する県内の状況はどうか。

町長 犯罪被害者等基金法に基づき、全国で犯罪被害者の支援に特化した条例制定が進められている。平成29年に「富山県犯罪被害者支援条例」が施行されて以降、市町村では滑川市、舟橋村、魚津市及び砺波市が、犯罪被害者等支援条例を施行している。

支援の提供体制

議員 支援の具体的な内容はどうか。

犯罪被害者へ途切れない支援を

町長 令和5年に国の犯罪被害者等施策推進会議において「地方における途切れない支援の提供体制の強化」が決定されたことを受け、現在、富山県では専門の知識と経験を有する「犯罪被害者支援コーディネーター」が中心となつて、県・市町村や警察、民間支援団体の制度・サービスを包括して支援の提供を行う「多機関ワンストップサービス体制」の構築に取り組んでおり、令和8年度から稼働する見込みだ。

条例制定

議員 上市町での条例制定の展望はどうか。

町長 令和8年度から県中心の支援体制が構築されるので、上市町としては、同年度から施行する予定とする。



富山県警リーフレット

一般質問



廣田泰三 議員

議員 地域クラブの指導者はどのような資格を保有しているのか。

教育委員会事務局長

地域クラブの指導者は競技団体やスポーツ協会の認定資格、日本スポーツ協会公認指導員など、日頃の指導や大会の引率に必要とされる資格を取得してもらっている。

議員 令和8年度以降の放課後の生徒の活動はどのようなになるのか。

教育委員会事務局長

学校部活動は段階的に縮小し令和9年度末をもって終了する方針である。生徒自らの希

中学校の部活動の地域への展開

望に応じて幅広い活動に参加できるよう、地域クラブや総合型スポーツクラブ、地域団体と連携し多種多様な機会を提供していく。

議員 地域クラブ等の代わりとなる団体への負担軽減や支援策は。

教育委員会事務局長

部活動の受け皿となる地域団体の意見を伺いながら、運営支援のあり方の対応を検討していく。

議員 地域クラブ等に対する教育委員会や中学校の関与や支援は。

教育委員会事務局長

町では地域クラブ推進協議会を通じてクラブ同士や中学校との情報交換に努めている。新生生の体験入学プ



地域クラブに移行したクラブチーム

ログラムの中に地域クラブ活動紹介動画やコーディネートを通じて学校行事の情報提供を行っている。

一般質問



椎名寛子 議員

義務教育学校の規模見直しで、放課後児童クラブがなくなった理由

議員 夫婦だけ、または、ひとり親家庭の世帯では、子どものお迎えは、誰にも頼れない。今後若い世帯の移住受入れもしていくのであれば、放課後児童クラブや子どもの居場所は、充実するべきだが、何故、当初の計画案から外れてしまったのか。

教育委員会事務局長

義務教育学校の基本計画においては、考えられる複合機能の一つとして、主に上市中央小学校区内の児童向けに、現行の上市中央小

放課後児童クラブ

子どもの居場所を充実すべきだ

放課後児童クラブと同規模の専用スペースを組み込んでいたが、概算事業費の見直しにあたり、延床面積縮小のため、計画は見送ることになった。福祉課からは、近隣保育施設への民間委託など検討していく予定と聞いている。

議員 上市町に家を建てた共働きの若い世帯が、子どものお迎えの時間までに帰ってくるのが難しく、せつかくの自宅を手放し他の町へ出て行かれた話を聞いた。こういうことが上市町で起きている。非常に残念に思う。困っているのは一部の方達かもしれないが、本当に何が必要とされて

いるのか町はきちんと把握し、困っている方に寄り添う、そういう町政であって欲しい。また、先行統合後の通学方法が2キロ圏内は徒歩であるのは承知しているが、近年の熊の出没、変質者による犯罪などから、事態にあわせて柔軟に検討していただきたい。



一般質問



碓井憲夫 議員

大規模校に関する見解と
既存校舎の分散利用の検討を

議員 「小規模校で生

らしい仕事ができ
た」「大きな学校は課
題をこなすことで精一
杯」先生方の声だ。「少
子化だから学校の統合
は仕方がない」と言わ
れるが、戦後の歴史は
町村も学校も一路統合
を進め、そのことが社
会の困難を生み出して
いる。大規模校は先生
と生徒の負荷の増大に
ならないか。

町長 県では、県立高
校の再編が議論されて
いるが、大規模校は1
学年480人、中規模
校で1学年160人か
ら280人、小規模校
は1学年120人以下

とされており、想定し
ている義務教育学校は
決して大規模校ではな
い。

教員による十分な指
導が受けづらい複式学
級による編制を避け、
すべての児童生徒に平
等な教育環境を提供で
きるよう、学校の統合
を目指している。

また、小規模校の場
合、教員に校務分掌が
生じ、授業準備以外の
負担が増大すること、
教員が少ないと授業内
容、学級運営について
他の教員に相談しづら
くなること等の問題が
あり、想定している1
学年3学級程度の規模
があればこれらの問題
を逆に緩和できると考
えている。



議員 多額の投資をし
て、大規模校を建設、
学校の一極集中を図る
のではなく、校区の学
校を分校方式として活
用することは、校区を
残し建設費用も削減で
きる。校区の学校に分
散する検討を。

町長 小中学校を同じ
学び舎で過ごすこと
で、「中一ギャップ」

の解消や幅広い異学年
交流の促進が図られ、
「地域コミュニティの
拠点」としても活用で
きる。

一般質問



廣田 透 議員

町営バスのAーデマンド化を

議員 高齢化により町
営バスの利便性が問題
となっているが、他市
町で導入されているA
ーを活用した乗合運行
方式導入の可能性は。

企画課長 Aーデマン
ド方式には様々な運行
方式があるが、役場と
してもチョイソコや射
水市のデマンドシステ
ムを提供している業者
からヒアリングを行っ
た。その中で、国の補
助制度があるとはい
え、導入経費や毎年の
ランニングコストが多
額になる点が課題にな
ると感じたところであ
る。また、どの方式も
検討にあたっては、運



駅前に待機するタクシー

転手の確保が昨今の一
番の問題である。まず
は町内のタクシー2事
業者に相談することに
なると思われるが、現
在その2社にはデマン
ド方式の町営バス2路
線を運行してもらって
おり、運転手の人数や
自社営業を並行する点
で、運行時間帯の大幅
な拡大や本数の増加は
難しいといった意見を
いただいている。民間
タクシーは、利用者の
細かな移動ニーズを叶

える重要な存在で、町
の公共交通を支える大
切な担い手であるた
め、新たな方式を導入
する場合には本業のタ
クシー運行に配慮した
うえで十分な協力体制
を構築していくことが
不可欠である。

一方で、利用者、特
に高齢者から町営バス
の利便性向上を望む声
があることは承知して
いる。議員指摘のAー
を活用した乗合運行方
式導入の可能性などを
引き続き研究していき
たいと考えている。



予約乗合バス

一般質問



議員 當波紀子

町内デジタル人材の育成はどのようなか

議員 近年のデジタル社会化に対応できる人材を育成し、将来の地域間格差をなくすようにしてはどうか。

総務課長 町職員のデジタル研修として県の研修や、DXリーダー養成の研修を受けている。さらに画像・動画作成、生成AI活用も受講させたいと考えている。

急速な人口減少が見込まれる中、自治体にはデジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させ、業務

将来のためデジタルを使いこなせる町へ

を効率化し、人的資源を行政サービスの向上に向けなければならない。企業課長 「DX戦略プロジェクト」の一つとしてLINE公式アカウント内の「スマホ役場」サービスによる行政サービスのオンライン化を積極的に進めている。LINE登録も3倍に増え、アンケートの満足度も非常に高い。スマホ教室を精力的に開催し、庁内サポート体制の改善にも努める。

教育委員会事務局長

小中学校ではデジタル技術を理解し日常の道具として活用する能力、論理的思考を身に付け問題解決できる能



こどもがデジタルに触れる場所
(群馬県 tsukurun GUNMA)

その他の質問

- ・公民館のLED化
- ・公民館のフローリング化

学校のあり方検討特別委員会（8月21日開催）
～義務教育学校整備計画の一部見直しについて～

見直し項目

- ① 学校規模の想定
- ② 事業費の縮減
- ③ 校舎の有効活用

当局

文部科学省では、学校施設を地域や社会と連携・協働し、ともに創造する「共創空間」の実現を目指している。上市町学校教育審議会からの答申もこの考え方を踏まえたものと理解している。

見直し後に複合機能として計画しているものは。

学校図書館を整備し、絵本室機能を併設する。他には特別教室等を町民や子どもたちへ開放し、放課後などにカルチャー教室や学

習室として利用してもらう。

校舎スペースの活用は。

廊下や教室を可変式とし空間を広げて活動できるようにする。学びの場や、学年集会にも利用する。

町立図書館は。

当初学校の中に建設を予定していたが、現在の図書館が高校生の学習室として利用されており今の場所に残す。ただし蔵書が古いものが多いため、町民のニーズに合わせていく。

防災に関する機能は。

災害時の備品を備蓄しておくほか、体育館に冷暖房設備を完備する。

建設に対する補助金は。

施設の機能全体が固

まらないと出せない。

文部科学省の補助金のほか、国土交通省などの補助制度も活用する。学校の建設においては町内業者の活用を明確にせよ。

どういった形で仕様書に盛り込めるかを、検討する。

◆事業費の縮減

種別	全体事業費 (従来方式)	全体事業費 (PFI又はDBO方式)	見直し後
設計・監理費、建設費	112億円	102億円	93億円
解体費(小学校2校)	14億円	12億円	12億円
計	126億円	114億円	105億円

上市町教育委員会提供資料より

令和7年度 議会運営委員会視察報告

(8月18日～19日)



酒井 桂之

令和7年度 町村議会広報研修会報告

(8月28日 LINE CUBE SHIBUYA)



椎名 寛子

【長野県長野市】

長野市議会では、ハラスメント防止のための倫理規定を整備、研修などを推進していくため、令和4年に「長野市議会におけるハラスメントの防止等に関する要綱」を策定した。



研修の様子(長野市議会)

感じてもらえるよう議会の活性化に取り組んでいる。上市町でも実施の可能性を探りたい。

【新潟県上越市】

上越市では住民の多様な意見を把握し、住民参画を図るため「ご意見を聴く会」や「議員と気軽にトーク」を実施。本市においても議会改革に積極的である。



議場の見学(上越市議会)

【フルサット】

北陸新幹線上越妙高駅前に、民間が運営するコンテナハウス商店街がある。かつて田んぼが広がる何もない場所だったが、今や商業用コンテナを利用したお洒落なお店が立ち並び「街」となり、賑わいを創出している。この成功事例の肝は、地域おこし活動にとりつかれたリーダーの出現である。近い将来、上市町に現れてはくれまいか。



コンテナ商店街(フルサット)

今回興味があつたのが、動画撮影です。人を撮る時に最も考慮すべきは構図で、例えばスマートフォン我真ん中にテープを貼り、それより上に顔があるようにすると、テロップが人と被らない映像となります。また、距離と高さを意識し、背後にスペースを作ると、圧迫感なく映像が撮れます。

今回の研修を活かし、議員の動画を載せて、町民に対し自分の思いを伝える、そんな紙面も面白いでしょう。また、町の課題の動画を使って発信することもできるでしょう。

そう考えたら、広報誌は多くの可能性を秘めていますね。

講師の中には、全国町村議会広報コンクールで優秀な成績を収めた



研修会の様子

られた町村議員が登壇されます。今回は福岡県大刀洗町議会の議会広報委員長が講演されました。自分たちと同じ立場である議員が講師をしていることに、尊敬せずにはいられません。

大刀洗町の紙面を見ると、議会が活発に活

動しているのがよくわかります。これだけの紙面ですから、さぞかし編集ソフトを使いこなしているのかと思いきや、原稿は手書きのラフであることにとても驚きました。毎号工夫と進化が見られ、紙面に対する熱い思いが、コンクールで賞を取る力の源なのでしょう。

わが町の議会広報も、最近では特集ページに挑戦したり、紙面をより見やすくするため、試行錯誤しております。これからも読んでいただける広報誌を目指して頑張っていきたいと思えます。

公共交通特集 第3弾

利用しやすい移動手段に向けて

公共交通特集第2弾では、富山県内各市町の先進的な取り組みをご紹介しました。他の自治体も同じ悩みを抱えており、巡回バスが空気を運んでいるという状況はどこも同じでした。そこから住民のためにどうやって利便性を高めていくか各市町で試行錯誤した結果が、前号で紹介した取組みに繋がったのだと思われます。

我々は、他の自治体に出来て上市町に出来ないことはないと考えています。どのような公共交通のあり方が上市町にとってより良い形なのか、今回はそちらに焦点を当てて検証していきます。

特集第2弾掲載号
No.44はこちら→



取材から見た町の課題

① 運転手不足

- ・昼間のバスを運行していない時間でも運転手の拘束が必要。
- ・平日及び土曜日は朝夕の同時時間帯に5路線で4台のバスが運行するため、運転手は4人必要。



② バスは片道利用が多い

- ・行きのバスの便に時間を合わせると帰りの便まで3時間程度の待ち時間が発生してしまうため、行き帰りのどちらかをタクシー又は家族の送迎とする利用が多い。

③ バス停までの距離が遠い

- ・国土交通省の調査で「無理なく休まずに歩ける距離は100mまで」と回答した65歳以上は10%、75歳以上は17%である。高齢者の歩行への抵抗感を解消できる仕組みが必要。（「平成27年全国都市交通特性調査」より）

④ 路線以外の場所に行く場合乗り継ぎが必要

- ・例えば南加積線から大岩へ行く場合、一度上市駅で乗り換えが必要。

どうしたら
解決できる？

我々からの提案

◆ 地域内の資源有効活用→ タクシー会社を巻き込んだ新しい制度作り



前号で紹介した旧大沢野町の「シルバータクシー」、小矢部市の「チョイソコおやべ」、旧大山町の「あいのり大山」、そして運転手が住民、運営がタクシー会社である朝日町の「ノッカル朝日町」は、どこも地元のタクシー会社と共同で事業を進めています。ここで重要なのは、タクシー会社の営業を圧迫せず、共に winwin の関係を築いていくことがポイントとなります。

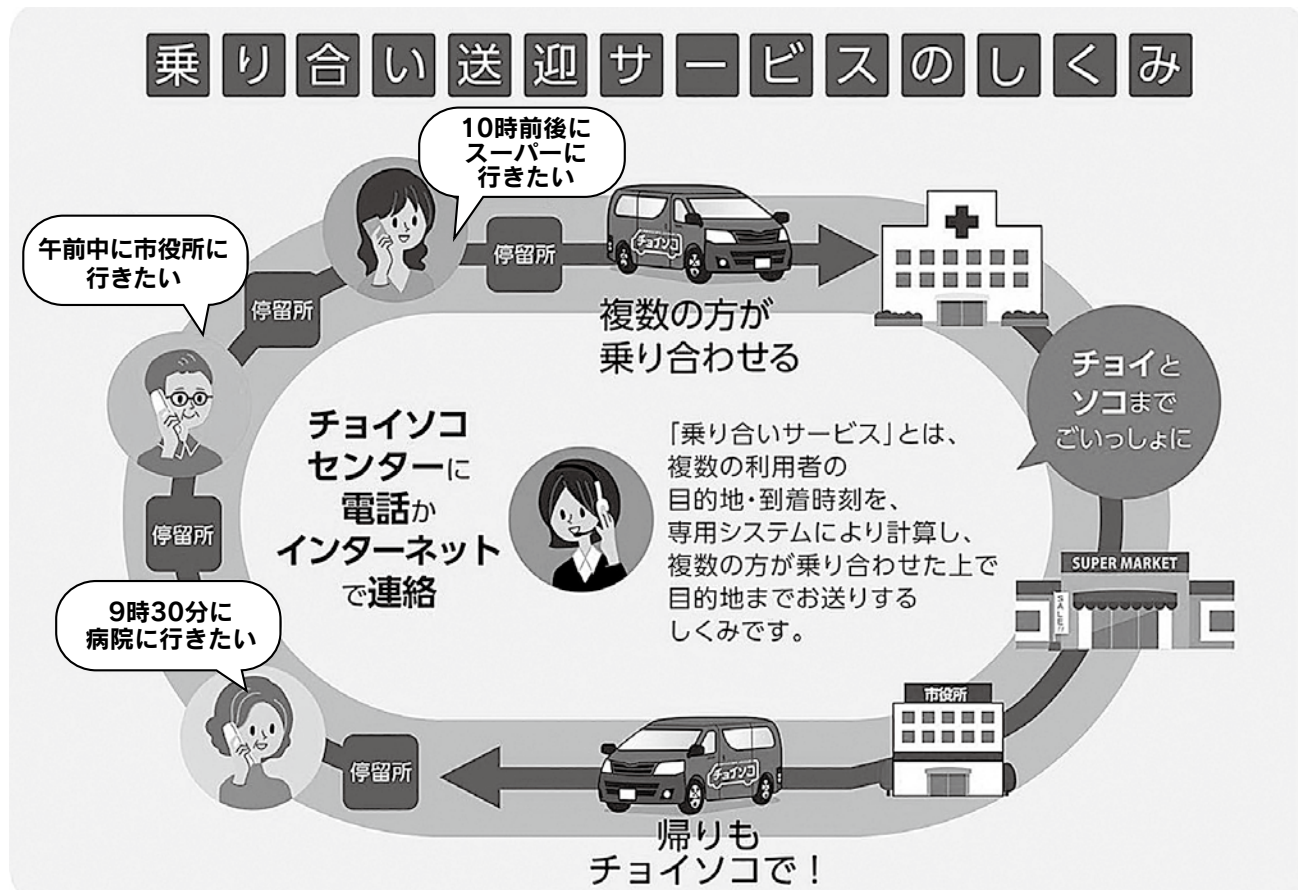
◆ 乗り合い型の送迎サービスで、高齢者が自由に移動できる環境作り

車を利用しない高齢者が自由に出かけることが出来ると、町の活性化や、元気な高齢者の増加にもつながり、町全体に活気が出てくると考えられます。好きな時間に行きたい場所へ直接行ける「乗り合い型送迎サービス」を始めることが、高齢化が進む上市町にとってより良い形ではないかと考えます。

「乗り合い型送迎サービス」とは

電話やインターネットで予約すると、おおよそ指定の時間に指定の場所へ送迎車が到着し、AIシステムが最短ルートを導き出し送迎してくれるサービスのことです。

バス停間の移動ですが、商業施設や公共施設などへのバス停の設置が容易なことから、公共交通空白地帯の解消に繋がることが期待されます。



(一例) チョイソコシステムの概要図 (チョイソコHPより)

町民の生の声をインタビュー!



村崎さん (若杉)

できるだけ他の人に迷惑を掛けたくないから、ひとりでいきたい場所へ自由に行ける仕組みが

あったらいいと思います。

現在の町営バスでは、バス停が遠かったり、待ち時間が長かったりするので、今のままでは、なかなか乗る気にならないのが正直な気持ちです。



平井さん (旭町)

買い物や通院で南加積線をよく利用しています。帰りは時間が合わなくて、仕方なくタクシーを利用

することがあります。

AIオンデマンド交通は魅力的ですが、スマホは持っていないので、帰りの予約を外出先で入れるのは大変かな。運賃が高いと乗れないかな。でも期待してます。

※ 新しい交通システムの実現にむけ、議会広報特別委員会として引き続き町へ提案していきます! (廣田 透)

町民の声 紹介



東 町
酒井容子さん

● 議会に期待することは
地域のお年寄りに接することが多いですが、一人暮らしの方も多くおられ、とても心配しています。お買い物や通院で苦労している方が多いですね。議会でも取り組んでいただきたいと思います。宜しく願います。

結婚を機に富山市より上市町に移りました。上市町はとても自然が豊かで、すぐに好きになりました。出産でかみいち総合病院を利用し、便利な街と思いましたが、町中の商店街の元気が無くなったのが残念です。
義母の介護には苦勞しましたが、子供たちも協力して家族のきずなが深まったと思います。今は実母の介護で親孝行させて貰っています。行政の皆様にお世話になり感謝しています。



稗 田
田村 聡さん

● 議会に期待することは
昨年10月に八王子市から移住してきました。築60年の古民家を譲り受けたものの、約10年間の空き家ブランクを埋めるのは結構大変でした。町からの空家改修補助金100万円は、トイレの水洗化改修に使わせてもらい本当に助かりました。
70歳を超えて東京から上市に移住するというのは大冒険でしたが、皆様の温かいご支援・アドバイスにより、スムーズに生活をスタートさせることができ感謝しております。

過去に町議会を傍聴させていただきました。質問の議員さん、回答の職員さん、双方真剣にやり取りされ好感が持てました。
今後、教育環境整備、管理不全空家問題、農業後継者育成等の課題を解決していただき、私も町政に協力していきたいと思っています。

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。



お知らせ

「声」の募集

町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

議会会議録検索

<https://www.town.kamiichi.toyama.dbsf.jp/>

toyama.dbsf.jp/



議会広報特別委員会

委員長 酒井 一好
副委員長 當波 紀子
委員 廣田 透
委員 椎名 寛子
委員 廣田 泰三
委員 松本 寛
委員 寺西 庄司

編集後記

今回の表紙は、ふるさと観光上市まつりです。街中に響き渡る上市音頭を聞くと、自然とこちらも手拍子で調子を取り、思わず踊りたくなります。上市町の未来へ残すべき伝統行事の一つですね。

先日、議会広報研修会に参加してきました。最近動画を使った広報が増えてきているようです。紙面とは違った面白さがあり、今後はぜひ上市町議会でも取り入れていきたいと思っています。

さて、本号をもちまして現在の広報委員会が発行する議会広報は最後となります。任期中は、議会活動の様子や町の課題・取組みを、少しでも分かり易くお伝え出来るよう努めてまいりました。時に厳しいご意見をいただきながらも、温かい言葉をかけて頂き、本当に励みになりました。次号から新体制となりますが、これからも皆様の声を町政へ届けて行きます。(當波紀子)

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-2550 FAX076-472-1115 ホームページ<https://www.town.kamiichi.toyama.jp/>

